

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 24 年度 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	伊藤 利洋	会員番号	0023667
申請者の所属・職名	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学(免疫病理)・講師		
出席会議名	米国免疫学会年次学術集会(AAI2012)		
発表論文タイトル	Spred-2 negatively regulates influenza A virus (H1N1)-induced pneumonia		

実施結果:

2012年5月4日から8日まで米国ボストンにて開催されたAAI2012に参加し、現在取り組んでいるプロジェクトの研究成果を発表した。AAIは、全てのポスターを会期中常時掲示するスタイルをとっているため、余裕をもって多くのポスターをみることができる。発表日以外にも多くの研究者が自分のポスターを見に来てくれ、有意義な意見・情報交換が出来た。私自身も時間に余裕を持って多くのポスター演題を見ることができた。

今回私は、「Innate immune signaling and immune regulation in viral infections」のセッションにおいて、「Spred-2 negatively regulates influenza A virus (H1N1)-induced pneumonia」という演題名で、ERK 経路の負の調節因子の1つである Spred-2 のインフルエンザウィルス H1N1 感染における役割につき発表を行った。インフルエンザウィルスやシグナル伝達の研究を行っている多くの研究者から貴重な指摘や助言を頂き、帰国後はこれらの助言をもとに研究が進んでおり、自分自身も多角的な視野を得ることが出来た。

シンポジウムでは、ウィルス感染のみならず、私が興味を持っているマクロファージや Th17 に関する多くの最新データが紹介され、最近の研究動向を知ることができた。

また私が以前留学していたミシガン大学の研究室からも多くの研究者が参加していた。彼らからもお互いの研究に関して議論をし、交流を深めただけでなく、新しい実験手技や実験方法につき教授頂いた。夜には同じ研究者として、研究の事、将来の事、家族の事等を語り多くの刺激を受けることができた。

末筆になりましたが、この度は Tadimitsu Kishimoto International Travel Award に選んでいただき、本当にありがとうございました。選出頂いたおかげで、上記のような大変有意義な時間を過ごす事ができ、今後の研究活動においても非常に貴重なものとなりました。岸本先生をはじめ日本免疫学会役員の先生方、事務局の方に厚く御礼申し上げます。